

一般質問に 7人が登壇

12月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(3月初旬掲載)

伊奈町議会ホームページ

<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
水上邦雄(P6)	1、消防体制の強化について。 2、防災計画について。
鳥井文典(P7)	1、ふるさと納税について。 2、学校給食について。 3、庁舎内の喫茶室、休憩スペースの設置について。
青木久男(P7)	1、21年度予算について。 2、義務教育について。
村山正弘(P8)	1、まちづくり交付金制度について。 2、長期財政運営計画の必要性について。
永末厚二(P8)	1、行政改革、実施改革プランについて。 2、伊奈町高齢者保健福祉計画及び第4期介護保険事業計画(案)について。 3、農地への廃棄物堆積について。
大沢 淳(P9)	1、町長の政治姿勢。 2、障害福祉計画の策定に向けて。 3、障害児学童保育室バナナキッズ。 4、河川浄化と家庭の汚水処理対策。
小林菊江(P9)	1、青少年の健全育成を。 2、高齢者が住みなれた町でいきいきとした生活を送るための介護保険を。

伊奈中・南小の耐震化は急ぐべきだ

可能な限り早めていく

消防の広域化

問 町の消防力が強化されるのか、検証が必要。広域化は、町が自主的に判断すべきだ。

答 上尾・桶川・北本・鴻巣の四市一町の勉強会を通じ十分検討している。

防災計画

問 震災対策は「東京 埼玉県境下地震」を想定。水害対策は「荒川堤防決壊」を想定

答 避難所対策は、ストレス解消やメンタルケア対策は、保健師

住宅用火災警報器

問 設置が義務化され、期限は6月1日とされていたが、

答 設置、推測27%。普及啓発活動を実施している。

を中心とした班編成で対処する。

問 プライバシー対策は、間仕切りも用意している。

答 認知症・障害者の方については、県民活動センターの宿泊施設も活用していく。

問 要援護者対策は、

答 災害時非難支援プランを作成し、役割分担を明確にしていく。

道路の冠水、床上・床下浸水の水害対策について

問 原市沼調節池完成時の被害予測は、

答 具体的データはないが軽減されると考える。

問 栄地区水害対策に綾瀬川に調節池が必要だ。

答 蓮田市境に計画されているが、位置、整備時期は決まっていない。



みずかみ くにお
水上 邦雄 議員

問 避難所対策は、

答 災害時非難支援プランを作成し、役割分担を明確にしていく。



出動

ふるさと納税制度の活用で寄付募
集を

策を講じたい



とりい ぶんてん
鳥井 文典 議員

問 ふるさと納税制度が
スタートしたが町の考え
と取り組み状況は。

答 十分に検討し「ふる
さと伊奈」を認識して頂
ける策を講じたい。



楽しい学校給食

問 制度の本格導入を。
答 ホームページで制度
の説明や寄付の呼びかけ
を実施したい。

学校給食の状況は

問 給食費未納状況と対
応は。

答 19年度16世帯36件約
14万円だ。20年度は10月
現在で120件49万円だが遅
れての納入もある。徴収
は時には職員同行で訪問
し努力している。

問 悪質な未納者は。

答 いないと聞いている。

問 食材や原油等の値上
がりの影響と対策は。

答 厳しい状況だが献立
の工夫等で対応してい
る。20年度の状況を見極
め学校給食運営委員会に
相談し今後は対応する。

役場内に喫茶室・休憩室
の設置を

問 町民も利用できる喫
茶室・軽食コーナーを設
置しては。

答 結構な考えだが今す
ぐは困難だ。

問 職員休憩スペースを
答 庁舎内の事務スパー
スが手狭で今は困難だ。

新年度予算の
基本的考え、中核的施策は

歳出削減と安心安全を基本と
する施策を遂行していく



あおき ひさお
青木 久男 議員

問 新年度は野川町政二
期目当初の予算となる。

答 4万有余の住民が期待
しているのは更なる安心
安全の町づくりと政策宣
言の早い時期での実施
だ。新年度予算編成の基
本は何か。

問 総合振興計画・後期
基本計画や次世代育成支
援行動計画の策定、学校
の耐震補強設計、危険箇

所改修、小針小体育館改
修準備工事をはじめ引続
きいな穂通りの計画的な
整備がある。

更に、民間保育施設の
受入れ枠拡大のための支
援の拡充、小学校のさわ
やか相談員の配置等に前
向きに取り組む。

そのほかの予算でも歳
出削減をしながらも住民
に必要不可欠な医療・福



役場庁舎

社・教育や道路等の基盤
整備など安心安全を基本
に予算編成をする。
学力テストの公表をした
らどうか

問 県内は10市町が公表
している。学力低下が全
国規模で懸念されている
今、学校だけで解決をす
るのでなく広く家庭や地
域との共有問題として考
えることも大切だ。その
ためにも当町でも公表す
べきと思うがどうか。

答 関係機関とよく協議
して判断する。

国のまちづくり交付金制度について
まちづくり交付金制度を活用して
財源確保をすべきだ

大切な財源となりうる制度と認識
している。
有効に活用してゆく



むらやま まさひろ
村山 正弘 議員

問 16年度からの制度で
あり、小針北小と北保育
所の建設 志久と丸山駅
のトイレ建設、内宿駅工
レベーター建設などこの
制度に該当可能な事業と



まちづくり交付金事業 役場北調整池

思うがどうか。

答 本制度は、特定され
たエリアのまちづくりに
面的整備が前提である。
スポット的事业を位置

づける事はむずかしい。

問 まちづくり交付金制
度は、事業費の最大40%
を国費として交付する制
度である。

16年度からの事業につ
いては国・県の補助率対
比はどうか。

答 各事業とも国や県の
補助事業を活用してい
る。結果的には40%を超
える補助率となった。

問 総合振興計画の基本
計画・実施計画をベース
に5年間の財政運営計画
を持つべきだ。

答 長期的な財政運営を
策定することは、計画的
な財政運営の指針として
効果的と認識している。

来年度において、総合
振興計画を策定するが、
その計画を踏まえ、引き
続き財政の健全化に向け
た取り組みを進めてい
く。

行政改革、行政評価システムの公
表を

内部評価に止まっているものを、より
町民に解り易いシステムを目指したい



ながすえ こうじ
永末 厚二 議員

問 現在の実施事業が町
民からどう評価されてい
るか、数値、参加者数、
利用状況を分析、町民の
声も加え、分析評価し、
町民に公開されれば、税

金の使途が一目瞭然、行
政マンの励みにもなる。
早期に行政評価システム
の開始と公表を。

答 効率的な行政運営を
目的とし、「内部評価」



クリーンセンター西側に山積みされた堆積物

に止まっている。公開を
前提に、対象、評価項目、
評価方法、成果指標の設
定など、現行システムの
見直しをしている。今後、
公開に向け、より解りや
すいシステム構築を目指
し、検討を進めたい。

**クリーンセンター西側、
堆積物の処置を急げ**

問 クリーンセンター西
側田んぼの中に高く積み
上げられた堆積物は、10
年以上も放置され、景観
上も問題あり、安全上も
危険な状態となってい
る、措置を急ぐべきで
は。

答 平成15年小針内宿区
長から農作業の交通障害
と隣接耕地への危険性が
あるとの、申し入れ書
を受け、町は、土地使用者
へ是正指導を行った。そ
の後一部の撤去作業をし
たが続かず現在に至って
いる。今年度11月県、町
合同で土地使用者に改善
指導を行い、12月には道
路部分を、その他は田ん
ぼの作業までに片付ける
との回答を得ている。

町長給与の2割カット、2期目はなぜ実施しなかった

生活の糧、労働の対価としていただき、町政運営に全力を傾注したい



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

町長の政治姿勢

問 政治倫理条例の制定を。
答 今後、必要性を含め

て勉強したい。

障害者施設・サービスの基盤整備

問 県のデイケア事業終



綾瀬川

了後、まっぼっくりはどくなるのか。

答 県の補助金は平成23年度まで。終了後は地域活動支援センターへの移行と町独自に任意の施設運営が考えられる。

問 養護学校卒業生の進路保障を。

答 養護学校等の進路指導担当者と連携を図りながら進めたい。

問 障害児学童保育室バナキッズの施設問題のその後は。

答 旧上尾東高校で開校する特別支援学校の使用が認められる見通し。

河川浄化と家庭の汚水処理対策

問 町長の言う「ふるさとの川の再生」とは。

答 昭和30年代の前半頃を想定している。

問 合併浄化槽の普及を。

答 補助金を継続し、経済的な支援を行う。

問 下水道料金の値上げ計画は中止を。

答 見直しに向けて検討を始めた。

高齢者が安心できる介護保険を

第4期の事業計画で検討している



こばやし きくえ
小林 菊江 議員

問 税制改正に伴う保険料の激変緩和措置を引き続き設けるべきだが。

答 町は現在の基準段階に特例を設けるととも

に、課税層を細分化し対応するよう検討している。

問 今後介護報酬額の改定の影響で保険料に変更

があるのか。

答 年額44,610円から2,500円程度の増額を見込んでいますが、3%程度の改定となれば、3,700円程度の増額と見込まれる。

問 介護保険給付費支払基金を取り崩して、できるだけ保険料を下げるべきでは。

答 できる限り取り崩し、保険料に反映させたい。

問 今後も住民ニーズに応え、安心の介護サービスに努めていただきたい。

答 国の動向を見、次期計画の保険料は、介護保険計画審議会の意見を聞き設定していきたい。

青少年の健全育成を

問 不登校の現状と問題解決のための方策は。

答 各学校とも個々の実情に応じて様々な対策を講じ、児童生徒が安心感、充実感をもって学校生活を送れるよう取り組んでいる。



町内の介護支援センター